

## 令和8年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	特 21		学校名	県立結城特別支援学校								学校長名	松本 牧子					
教頭名	菊池 あけみ				教頭名	菅間 健一				事務（室）長名	小藺江 秀行							
教職員数	教 諭	95	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	19	非 常 勤 師	4	実 習 助 手	4	寄 宿 舎 指 導 員	0	事 務 職 員	3	技 術 職 員 等	13	計	140
児童・ 生徒数	部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		小計		合計	合計 学級数	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	小学部	17	5	12	4	13	6	14	5	12	7	11	4	79	31	110	27	
	中学部	11	5	16	2	13	1							40	8	48	12	
	高等部普通科	12	7	13	8	18	5							43	20	63	11	
	高等部ビジネス・ライフ科	9	2	5	2	7	2							21	6	27	5	
														183	65	248	55	

## 2 目指す学校像

- ◆安全・安心な教育環境づくりと豊かな心を育む教育を推進する学校
- ◆一人一人の障害の状態等に応じた指導の一層の充実を図る学校
- ◆学校教育活動全体をとおした、キャリア教育を推進する学校
- ◆地域のネットワークを密に結び、地域全体の特別支援教育の充実に寄与する学校

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学習環境：緊急時対応訓練、地域と連携した継続的な防災教育の実施、各種避難訓練、配慮が必要な児童生徒の情報を共有し、児童生徒が安心・安全に学習に取り組めるようにしている。</li> <li>・健康の保持増進：学校・家庭連携の健康プロジェクト、体力づくり強調月間、食育研修を実施し、健康の保持増進のための取組みを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の知見や新たなリスクについても職員研修や安全教育に取り入れ、安全な教育環境の充実を図る必要がある。</li> <li>・保健指導を工夫し、児童生徒が自ら健康や安全に関心を持ち、主体的に生活習慣</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>学部間連携</b>：上級生と下級生の交流による学び合いを実施し、自己有用感や自己肯定感を育むことや、こうなりたいというイメージを獲得することができるようにしている。</li> <li>・ <b>地域・企業連携</b>：学校運営協議会での熟議を通し、学部ごとにテーマに沿った地域資源、地域人材を大いに活用した活動を計画し、実施することができる。</li> <li>・ <b>働き方改革</b>：学校行事の目的を整理や会議における協議内容の事前調整により業務の効率化を図っている。スプレッドシートを活用し動静や日程の調整を行っている。</li> <li>・ <b>コンプライアンス</b>：学部を超えた小グループや学年での研修を行い、児童生徒への効果的な言葉かけについて共有することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>を身につけられるようにする。</li> <li>・ 卒業後の進路選択を見据え、小学部段階から一貫したキャリア教育を推進するため、将来の自立に繋がる体験的な学びを充実させる。</li> <li>・ 学校運営協議会における熟議を深め、地域社会と一体となって子どもたちの学びを豊かにする具体的な教育活動を構築する。</li> <li>・ 校務内容の明確化とマニュアル化を一層深め、業務の見える化を図ることで、教員が指導に注力できる環境とパフォーマンスの向上を推進する。</li> <li>・ 計画的な研修に加え、教職員がお互いに意見交換し支え合う体制を整え、学校全体の組織的な教育力と実践力の向上を図る。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々に応じた ICT 機器の活用や、学習の理解を促す情報の視覚化を行い、効果的な活用ができています。</li> <li>・ 教科の見方、考え方を働かせるような発問の工夫をすることで児童生徒の多様な考えを引き出すことができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT 機器の活用や情報の視覚化をさらに深め、個々に応じた特性や学習状況に応じた「個別最適な学び」を確実に実現するための指導方法の向上を図る。</li> <li>・ 児童生徒の多様な考え方を引き出すとともに、それらを結びつけ深め合う「協働的な学び」を軸とした授業づくりを推進する。</li> </ul>

#### 4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全・安心な教育環境づくりと豊かな心を育む教育を推進する。</li> <li>2 一人一人の障害の状態等に応じた指導の一層の充実を図る。</li> <li>3 学校教育活動全体をとおした、キャリア教育を推進する。</li> <li>4 地域のネットワークを密に結び、地域全体の特別支援教育の充実 に寄与する。</li> </ol>
--

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 安心して学べる教育環境	① 健康の保持増進のための実践力の向上 ② 地域や関係機関と連携した安全能力の育成 ③ 児童生徒が互いに認め合い心の絆を結び合う集団づくりの推進
2 学びの喜びを「自信」へ結ぶ学習活動	① 一人一人の状況に応じた系統的な指導の充実 ② 学習のねらいに応じた ICT（タブレット端末）の効果的な活用事例の共有と実践 ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を軸とした授業づくりの推進
3 今を「未来」と「社会」に結ぶ キャリア教育	① 小学部段階からの系統的なキャリア教育 ② 自己理解を深め、主体的な進路選択を促す指導の工夫 ③ 学校運営協議会を核とした地域や企業との確かなパートナーシップを結ぶ教育活動の充実
4 地域の特別支援教育を「つなぎ、深める」 センター的機能	① 幼保、小・中学校、高等学校への相談支援体制の充実 （特別支援教育推進体制充実事業） ② 専門家や地域の関係機関との連携強化（地域連携体制構築事業） ③ 地域への特別支援教育を「結び、確かなものにする」情報発信
5 働き方改革 コンプライアンス確保	① 業務を精選し、教育の質を高める力の向上 ② 組織的判断に基づき、誠実に協働する力の向上 ③ 挑戦を支え合い、ともに成長する組織力の向上